

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 生涯学習課

会議の名称	令和4年度 第1回茅野市社会教育委員の会議		
開催日時	令和4年5月25日(水) 午前10時00分～午前11時45分		
開催場所	茅野市役所 8階大ホール		
出席者	<p>矢崎美知子委員(委員長)、大作公明委員(副委員長)、市川純章委員、金田照俊委員、名取哲男委員、古畑祐二委員、宮坂雅昭委員、宮坂章委員、矢崎智義委員</p> <p>山田利幸教育長、北沢政英生涯学習部長、五味留美子こども部長、竹内こずえ生涯学習課長、武居直樹生涯学習係長、畑中紀之教育指導主事、柳平美穂生涯学習係主査、伊藤利恵文化芸術担当、両角勝元中央公民館長、両角香代同教育係長、今井祐子家庭教育センター館長、五味一男図書館長、北澤ゆき子同係長、五味健志文化財課長、小池岳史同文化財係長、山科哲尖石縄文考古館係長、両角徹生八ヶ岳総合博物館長、正木美香同係長、柳川英司守矢史料館担当、伊藤善彦スポーツ健康課長、内山誠治同係長、阿部香織こども課長、宮下孝同係長</p>		
欠席者	長田秀子委員、鶴飼幸雄神長官守矢史料館長		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
生涯学習課長	<p>1 開会</p> <p>本日の会議につきましては、感染レベルが下がりましたものの新型コロナウイルス対策としまして、基本的なことは継続した形でいきたいと思えます。皆様からのご発言の際にもご協力いただければと存じます。また、本日の会議の終了時間につきましては、11時30分を目安とさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>		
教育長	<p>2 委嘱書の交付</p> <p>教育長から新任の各委員へ交付</p> <p>3 教育長あいさつ</p> <p>社会教育委員の皆さん、一年間よろしくお願いいたします。今回委員になられた名取様、古畑様、宮坂様、どうぞよろしくお願いいたします。本委員会の委員の皆さんの役割ですが、後程、事務局から説明いたしますが、茅野市の皆さんが生涯学習、社会教育学習により幸せになってほしい、そのためには何ができるか、これが一番大事になってくるかと思っておりますのでどうかよろしくお願いいたします。昨日、高齢者大学のオリエンテーションがありました。ここ二年間、入学式などコロナ対策により行われておりませんが、今年度、89名の方が新たに学ばれ、そのうち68名の方が在籍し、62名の方が出席されました。最高齢の方が89才。教養講座、技能講座など</p>		

6月7日から9月21日まで、7回開催されます。いつも高齢者大学の入学式に行くともものすごい元気をもらって来ます。二年間行かれなくて様子を聞くだけです。その中で、昨日は写真家の西村先生の講演をされたようです。題は「八ヶ岳の自然と干す文化」の内容で、西村先生が一番言われたのが、食文化の中で干すということはとても大切で本物の味をつくっていく、干物にしても大根を干すにしても野菜を干すにしても、今の若者や子どもたちが、本物の味を忘れてしまっている、だからお年寄りの皆さんが干すという文化をもう一度考えて広めていってほしい、というお話だったようです。自分の身をもって、生涯学習、社会教育を皆さんだからつくっていくというエールを西村先生は送っているのではないかと思います。その中で、様々な活動があり、今日、慎重ご審議いただくわけですが、例えば茅野市の社会教育の特色が幾つかあります。一つは、学校教育との関係ですが他の地域とかなり違いがあり、学びの多様性という中で公民館、総合博物館、尖石縄文考古館の各館にここ数年間、講座を重点的に行っていただいております。尖石縄文考古館では市民ガイドの皆さんの育成ということを昨年から本格的に始めました。また、総合博物館の場合は、市民研究員の方が、研究と運営にあたっていく方法を打ち出しております。守矢史料館はコロナ禍ですが、入場者数は大幅に落ちておりません。お正月に行くと、かなりの方が見えている。そんな状態です。今のところの様子をご紹介しましたが、まずよりよい社会教育が、これから一年間展開できますように、皆様方のご意見をお伺いしたいと思います。どうぞよろしく願います。

4 自己紹介（委員のみ）

5 会議事項

（1）審議会の公開について

審議に先立ち、審議会の公開について事務局から説明。

～資料1の説明～

本日の会議の公開、議事録の公開について説明及び確認を行い、非公開基準に該当する項目はないため、当会議を公開とします。議事録に関しては、委員名を表示せずにホームページで公開します。

（承認）

（2）社会教育委員の役割について

審議に先立ち、社会教育委員の役割について事務局から説明。

～資料2-1の説明～

「社会教育委員の役割」社会教育法第17条に規定する社会教育委員の職務について説明。

～資料2-2の説明～

令和2年度諏訪地区社会教育委員連絡協議会第1回理事会の資料として添付されていたものです。こういった活動をすれば良いかが分かりやすく掲載されていますので、今後の活動に、役立てていただければありがたいです。

委員長	質問等ありましたらお願いいたします。
委員	<p>資料2-2の補足として、茅野市の社会教育委員の現状を見ると、例えばこの研修の資料の1から3の3点、茅野市はこれを考えて社会教育委員を選んでいるのではないかと考えていて、いろいろなボランティア活動しているところからきているとか、まさに住民の意見を聞いている人たちが来て審議、意見を言うことから、機能しているのかな。逆に社会教育委員を選ぶということがここに書かれていることは、他地区ではそうではない社会教育委員を選んでいるのかなと思って、それは苦勞するなと思いました。社会教育委員にそういうバックグラウンドがあるのがまさに優位なのかな。逆にそれを知っているからこそ、委員としては、ある意味、中長期的にかかわらないと市に対して意見が言えないのかなと思っています。実際に役職指定の方は入れ替わりますが、そうでない方は、中長期的に関わっているので茅野市はうまく機能しているのかなと思いました。</p> <p>その次の4の研修会に参加してと、5の社会教育員同士のこと、6、7まで僕も社会教育委員に関わって10年ぐらい指名されていてありがたいのですが、いろんな研修へ出ていくことで、他地区の実情を知って勉強することができますし、他地区で頑張って社会教育委員の方と知り逢える。この前も下諏訪の社会教育委員の方が訪れて話をしたときに、社会教育委員が何かわかっていると、非常に共感もて広がりがあるのかなと思う。そういう意味で中長期間にやると、そのあたりが連携で生かせるのかなと感じています。研修とか都合がつきにくい日程が多いのですが、何とか都合をつけたい。さらに行政の方との関係では、山田教育長と仲良くなったので、こんなことありますよという意見が出せたり、そういう機能をするのかなというのを感じていますので、とても意味のある会だし、力もあるかなと思っています。</p>
委員長	ありがとうございます。他にご意見はございますか。
委員	<p>社会教育委員の仕事を見ますと、住民の意見を代表してこの会議にくるような形だと思います。住民の意見をどうやって吸い上げるかに問題があると思いますが、これは行政のあり方にも関わってきますが、住民の意見を吸い上げる新しい方法がいくつか出てきています。</p> <p>実際、日本でも、ネットを使い市民の意見を吸い上げる方法を行政が取り上げているところもあります。ポートランドのネイバーフッドという組織は、市民の意見を行政の政策の立案に組み込んでいます。日本では、一般社団法人コード・フォー・ジャパンという団体が提供するスペインの「デシデイム」という方法を取り入れて、ネットで市民の意見、賛成意見、反対意見も取り入れて、行政を行っている事例があります。</p> <p>茅野市の社会教育の活動を見ていると、市民の声をどうやって吸い上げ市政へ反映するかということになるので、市民の意見を直に吸い上げることは、かつては難しかったが、今はネットがあるので、そんなに難しくはないと思います。</p>

	<p>新しい方法を模索しながら、いろいろな市民の意見を吸い上げていけるのであれば、その方が有効かなという気がします。</p> <p>確か加古川市だったか、実際に動いているところもあります。この社会教育委員の仕事が市民の意見を広く吸い上げるということであるとすれば、そんな事例を参考にすれば、新しい方法も、茅野市でもできるのかなと思います。</p>
委員長	はい、ありがとうございました。他にございますか。
委員	社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者の方々が初めての委員でわからないので、名簿があれば次回いただきたいです。
中央公民館長	<p>社会教育関係団体につきましては、市民の皆様が自らの学習を高めるために、学習し、またそれが地域貢献まで発展していく、そんな団体であります。茅野市の中央公民館の方では、およそ 300 弱の団体があり、その名簿がございますのでご覧いただけます。それから指導者につきましても、中央公民館で作っているもので、指導者名簿というのがございまして、希望される皆さんを名簿に載せさせていただいております。その皆さんが多くは分館の講座指導をしていただく、そんなことであります。こちらもご提供できますので、そんなことでよろしいでしょうか。</p> <p>(3) 令和4年度社会教育委員年間事業計画について 資料に基づき、年間事業計画について事務局から説明を行う。 ～資料3の説明～</p>
委員長	<p>7月4日の定期総会、諏訪・上伊那地区合同研修会の講演会は諏訪地区社会教育連絡協議会長の小池玲子さんが「社会教育委員の手引きと活用方法について(仮)」と題して講演を行います。今年、社会教育委員のテキストができるそうですので、それを利用したお話と意見交換をしたいということです。社会教育委員として何をしたらいいのかという課題もありますので、この機会にぜひ出席していただければと思います。</p> <p>あと、8月の第2回社会教育委員会は臨時会となります。定例ですとこの5月と3月だけですが、こうした会場で各施設の事業等の説明を受けるだけでは実感できないところもありますので、今年は施設に出向き、説明を受けたり、見学をしたりという機会をつくっていただき、そこで社会教育についてのワークショップ等を開きたいと考え、臨時の会を計画していただきました。こうした機会をぜひ有効利用していただき、社会教育委員の在り方を考え、或いは茅野市を元気にするためには地域の活動が一番大切だと思っていますので、社会教育を活発化していくことをぜひ皆さんで考えていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>ご意見ご質問等ありますでしょうか(なし) (承認)</p> <p>(4) 社会教育関係団体補助金の交付について</p>

<p>生涯学習係長</p>	<p>資料に基づき、社会教育関係団体補助金交付団体と補助金について事務局から説明。</p> <p>～資料4の説明～</p> <p>補助金交付予定の7つの団体は、いずれの団体も青少年教育や成人教育などの社会教育活動を行う公益性の高い団体です。参考資料としまして別冊（参考資料1）で、事業報告と事業計画を添付しました。本日、細かい説明はしませんが、実績が客観的にも認められる団体で今年度もこれらの団体の社会教育活動を支援することを目的として、補助金を交付したいと思います。よろしいかご意見をお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>ご意見ご質問等ありますでしょうか。（なし）</p> <p>それでは令和4年度の社会教育関係団体への補助金については、承認とさせていただきます。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>（5）令和4年度茅野市社会教育に関する計画及び課題について</p> <p>～資料5の説明～</p> <p>説明に入る前に、18ページの資料5について少し説明をさせていただきます。社会教育委員の会議については通常年2回、年度初めと年度末に開催されています。事業計画と事業報告につきましては、各施設・各部署ごとに説明をしてご意見を頂戴してきました。令和3年度から部としての役割と基本方針のほか、主要事業計画をあげさせていいますが、前回の会議で資料の実施報告と課題が別々になっていて資料が見にくいとご意見をいただいたので、今回、主要事業の枠の下に課題を入れさせていただきましたのでご覧ください。なお、表の下に特に課題を上げていない事業もありますが、よろしくをお願いします。参考資料2につきましては、本日、事務局からの説明は省かせていただきます。補足資料としてご覧いただければと思います。この後、各施設・各部署ごとに主要事業と課題について概略を説明させていただきます。</p>
<p>生涯学習部長</p>	<p>生涯学習部の役割及び基本方針でございますが、生涯学習の担っている役割は、みずから学ぼうとする意欲にこたえ、学習の場と出会いの場を提供することで、学ぶ楽しみや喜びを醸成するとともに、一人ひとりが生きがいに繋がる学習を支え、生きがいを持って生きる環境を提供する方針でございます。そのため、生涯を通じまして学習環境を整え、自らの資質を高め、目標に向かって努力する人を支援していきたい方針でございます。ただ、生涯学習の成果というものは、目には見えづらいものでございます。生涯にわたって継続して学び続けられる環境を整備し、そこから得た学習の成果が地域に結びつけられることにより、文化、芸術、スポーツの振興を図っていきたく思っております。それでは主要事業の計画及び重点課題、案件につきまして、ご説明をしたいと思います。地域を知る学習地域を育てる活動、読書を育む活動、尖石遺跡をはじめとする遺跡の整備、活用の推進、市民館を核にした文化芸術の発信充実を目指して、学びを支える、学びの成果の活用を支える、繋がりを支えるという三つの支えをとおしまして、人と人とのきずなを大切にしたいと取り組むことを推進していきたいと思っております。</p>

	<p>す。具体的には主要事業としまして、(1) 番から (12) 番までございます。この後担当から主要事業につきまして、説明を申し上げますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(資料5に基づき、各課・施設の主要事業計画・懸案事項等を説明)</p>
委員長	<p>ご説明ありがとうございました。これから質問等に入りますが、お一人ずつよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>大きな話と細かい話でコメントがあります。大きな話としては、影響がまだ顕在化しないのかなと思ったのは、例えば博物館協議会の会議の中で、財政が大変だから削減して市民に痛みを伴う改革をとという中で、いろんな事業が削減されていく、そのようなことが聞こえてきます。これを見る限りでは、削減されるという形は見えてこないの、まだ安心ではなく実はまだ始まっていないのかなという感じがありますが、今日冒頭で教育長がおっしゃられたように、市民が豊かに生きていくための事業も行政が担うというところ。まさに社会インフラで上下水道整えて、道路整えて、お金で老後を補償とかがあれば命は守られるけどそれで豊かに生きていますか。それが民間のパワーだけで、いろんな豊かさを作るのですか。やはり、行政が入っていかねばいけないところがあるのだろうか。そういったことを考えていかないといけないというのを強く改めて、知恵を出して、優先順位もありますが、守らなきゃいけないところがある、そんなことを感じました。そういう意味では、教育長の豊かに生きるために大切な事業である基本的な考えに市民としては共感しました。</p> <p>あと、細かいところとして例えば、中央公民館で、学生がどこか市でお勧めの所がありませんかと、新入生との意見交換会の小グループワークのときに、茅野かるたの市民サークルに入っていると。それは何処にあるかと聞いたら、中央公民館だと。既に学生たちは、そういうところに入っているの、そういう意味でいろんなレク活動みたいなものも、広く浸透している面もあるのかなと思っておりました。公民館の事業活動を見たときに、茅野どんぼん養成講座のお願いとか、今年も載っているなと思って、中央公民館のお話を聞いた時出たのは、そういうサークルが起きていることを念頭にサークルを支援し続けることではなく、サークルがどんどん生まれていくようなことを支援したいなということ聞いた。ただ、その生まれて独立している活動だけでもないのでいろんなバランスの中で考えていくことだと思います。その中で、先ほど別の委員から質問がありましたように、そうやって生まれてきたサークルはどれくらいあるのか。またその消えていったサークルはどういうふうなのか、それがまた市民の達成度の指標なのかと思ひまして、先程たぶん 300 団体ぐらゐを登録していますというのはおそらく生まれて独立したサークルなのかなと。それでだんだん活動自体がなくなってきた、そこも一つの何かバロメーターなのかなと思って気になりました。スタートして始まって巣立って生まれて独立してったよというのはもうちょっと見たい数字かな。そしてだんだん時間とともに消えていってしまう新陳代謝がある、そんなのをみたいかなと思ひました。あと</p>

	<p>もう一つ細かいこととしては、博物館協議会で縄文検定は、もう最近はやらなくなったと聞いた。もう十分市民に浸透したので、もういいかなと。止めたわけではないが、今日、縄文検定やりますって載っていて、復活って喜んでいたので、例えばうちの大学生がいろんな地域から入ってきて、毎年 200 数十人がこの縄文なんて縁がない子たちが、せっかくそういったものがあるならば知っていただきたいなというのがあったので、縄文検定も市民だけではなく、枠を広げているので、まさにその縄文検定という新しい民間ブランドを茅野市がして、よその地域から茅野市に受けに来るみたいなのを多分イメージしていると思いました。あとは、縄文セミナーか何かを始めたというのがニュースになっていて、そういったせっかくある我々の努力で生んだのではなく、刺激的な文明で生まれたことなのだから、努力してもつukれないわけだから、そこに生まれたものとしては守っていくのかな、そんなことも感じましたのでぜひ続けていって欲しいし、応援したいなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>公民館がいろんな事業の中で一番市民の皆様に近いところにありますので、特にコロナ禍の中でこの活動が分館でも整っていない感じがします。先ほど尖石でも八ヶ岳でも神長官もいろいろな企画をやっています。そういうものを、公民館の学習専門委員会を通じて各地区分館の方へ資料を提供しながら、共同で市民の方にさせていただくといった機会をつくってもらう方法にすれば、多くの方に地域を知っていただく。確か前の矢島館長さんの時に、自分の地域を知るといふ、地域のお宝探検隊かなということをやっていたので、それだけなら自分の区のこと、今は市全体の中で縄文のことを知る機会、或いは神長官のことを知っているようで知らない、結構いいことをやっているのだけど、個々ではいけないけど、分館の事業として、学習部でこんなことをやったらどうかというのを提案しながらやっているとみんなが身近に感じていただいて、いい活動につなげて、出る機会をつくっていただいて、みんなで自分の地域を知りながら、ひとつの学習の研修になればと思います。そんな連携があればありがたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私もいろんな施設に行き利用したこともありますし、コロナ禍で、こんな活動をしていると改めて発見ができていい機会だったと思います。継続していただいて新しいこと、いいことは続けていただければと思います。ただここで、予算額と書いてありますが、ここで関係があるのか私にはわからないのですが、結構大きい額とかもあったので、具体的にどんなことで使っているかわかればなおいいのかなと思います。これはあくまで意見として受け取ってください。</p>
<p>委員</p>	<p>まず様々な事業を進めていただいていることに感謝申し上げたいなと思います。ありがとうございます。私、地元が茅野市ではないのですが、この茅野市は、史跡、文化財、それから人材の宝庫なのだなあとということを改めて認識いたしました。小中学校では、縄文市民科という学習投資ですね、茅野市の歴史それから、人類の歴史を辿りながら、学びを進めています。そのこ</p>

	<p>とをとおして、茅野という地元を愛して、地元に誇りを持つ、そんな子どもたちを育てていきたいなと思っているところでもあります。そのためには、老朽化なんて話もいくつか出てきましたが、ぜひそれぞれの施設の整備を大切にさせていただいて、進めていただければありがたいかなと思っています。それから、ちょっと個人的な宣伝ですけども、本校宮川小学校は150周年記念の年になります。未来の子どもたちに夢と希望を持ってもらいたいなという思いを込めて、地域を愛して、地域に誇りを持つ地域企業とか地域の人材から学ぶというような、イベントを少し考えております。今後いろんな場面をお願いすることがあろうかと思っております。その時はぜひご協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>茅野市の義務教育の柱が、自分の人生、自分たちの未来を思い描く、その中で、地域に愛着を持ち地域の人々に学びながら、自分に生き方を幅広く柔軟に考えていく。その中で多様な学びを実施していこうと考えています。それで、宮川小学校で考えていることと教育委員会で考えていることを12月の150周年で、その姿をぜひ見てもらいたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>高校の立場から、本校も茅野市の出身者が6割弱ぐらいで、今古畑委員からもお話がありましたように、小学校中学校の時に、そういう形で地域を学んでいる生徒が多いわけです。そういう部分で、今回、お話を聞かしてもらって博物館それから神長官とかいろんなところで学んできている生徒が多いわけですが、なかなかそれを高校までつなげていくというのは今できてないのかなというのが課題と思っているので、その辺を高校生にもつなげていけたらいいかなと実感として思いました。またいろいろな部分で施設の老朽化等の話があり、今、私のところにも、陸上部がありますが、茅野市の陸上競技場を使わせていただいております。その中で改修の話が出ておりましたけれども、そういう部分でもいろんな力を加えながらですね、ぜひとも残していただくような形をしていただければありがたいなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>すごいいろいろ市民参加の行事、催し物があると思えました。ただ、多分、広報とかアピールが足りない部分が多々あるかと思えます。私たちスポーツ協会も事業を実施するにあたって、やっぱり人集めってすごい大変。今、見させていただいて、それぞれの課、係での事業を単独ではなく、関係あるところが縦断して、行事をやるのも一つの手ではないかなと思えました。私たちスポーツ協会は、公民館にも体レクという専門委員会があります。市民を集めるにあたって一緒に共催で事業をすることもまた一つ、手ではないかなという気がいたしました。</p> <p>それからもう一つですが、運動公園もそうですが、それぞれ各公民館とか、博物館施設が老朽化しているという問題が出ていると思いますので、市の予算が決まっている中で、どのようにうまくまわしていくかということも、検討課題かなと思えました。</p>
<p>委員</p>	<p>二つ、お願いしたいと思えますが、1点は、ここに各事業で予算額が載って</p>

<p>生涯学習部長</p>	<p>きますが、この予算がどういったものを表しているかちょっとよくわからないですけど、これを見る限り、スポーツ関係の予算が突出しています。先ほどの補助金の額もそうですけど、スポーツ関係の金額が特別大きくて、これだけ見ると茅野市はスポーツ関係にもものすごく力を入れているような形に見えますが、何かこれには思いがあるということなののでしょうか。</p> <p>思いというか、これが現実で、ソフト事業にかけるお金とハードにかけるお金とでは、圧倒的にハードの方がかかりますし、日に日に老朽化が進んでいきますので、この額もまた押さえてもまだ自然的に増幅していく。ですから、これは避けては通れない道であります。知恵を絞っていただいて、それぞれの施設だとか今あるものを何としてでも死守したいとなると、これはもうにっちもさっちもいなくなるので、それぞれがやっぱりどこかで譲歩しながら、複合化だとか、再編だとかを考えていかなければならない。それには市民ニーズやいろんな要素が入ってきますが、市が大きな計画の中で、公共施設再編計画というものを、市民の行財政、審議委員さんの意見をいただきながら進めています。ご理解をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>博物館にしても、展示が結構傷んできている。そのままでもいいといえいいんですが、例えば人がケガをするのではないのでそのままでもいいということかもしれませんが、手を入れたい部分はいっぱい出てくると思います。これだけ見るとあまりにも金額が違いすぎるので、他からよく文句が出ないなと思いました。</p>
<p>生涯学習部長</p>	<p>これが全てではなく、それぞれのところで施設とか維持ということは契約していますが、先ほどの説明は重点事業として挙げていますので、見えないところでは、他のところもお金をかけています。市の今年度の重点目標として、こういったものを掲げて、それにはこれだけの金額がかかるということでご理解ください。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。もう1点、重点事業の施策としてハード面とソフト面があると思いますが、ソフト面の事業が主に出ているが、縄文の里の整備とかハード面もあるかもしれませんが、老朽化に伴う更新ではなく、攻めのハードの更新もあると思います。予算的に厳しいかもしれませんが、ぜひ攻めのハードの更新も長い視野の中で考えていただければと思います。例えば、博物館を魅力あるリニューアルをしていくとか、私は博物館の味方ばかりでいけないですが、ぜひ魅力のあるものに、ハード面を含めても、計画を立てていただければと思います。</p>
<p>生涯学習部長</p>	<p>矢崎委員さんは図書館協議会、市川委員さんは博物館協議会と、そういった立場で、会議に参加していただいていますので、またそういった個々の会議の中でも将来的なものも現実を踏まえながら、お話をさせていただけると逆にありがたいかなと思いますので、よろしくお願いします。</p>
<p>副委員長</p>	<p>感想になりますが、中央公民館事業について、今年度から地区の学習専門</p>

	<p>委員を仰せつかりまして、この間、1回目の会議をしました。そこで改めて感じたことですが、今まで、生涯学習のテーマとして掲げてきたもの、それが成果としてしっかり残っているということを実はとても感じました。観光所に甲州街道でくたくマップ、前宮でくたくマップがあり、大変人気のパンフレットです。それを作ったのが中央公民館に集まっていたという学習専門委員の皆さんで、市民の皆さんも使っていたというし、観光客も見えていただいていることが素晴らしいなと思いました。観光客というと外から来る、ふらっと観光に来るとお思いになるかもしれないが、茅野市に目的を持っていらっしゃる方が大変多いです。縄文や上社、特に前宮が、一番歴史が古いというので、ぜひ見たい、前に来たけど改めてきましたという方が多いです。そういう意味で、勉強したい、もっと知りたいという方がたくさんいらっしゃるの、観光客をおろそかにできないという感じが私自身、毎日感じているわけです。今まで蓼科、白樺湖、車山の温泉施設とかを紹介すればよかったが、私たちがカウンターにいてお客様と接する時に、こういった知識がないとお話できない。そうなりますと私自身、勉強が必要ですし、その辺の市民の皆さんにちょっとすいません、何とか遺跡はどうやっていけばいいですかと聞いた時に、市民の皆さんが知らないということがあってはいけないと思っています。</p> <p>観光の話のついでに各施設、老朽化になっているというお話がございました。そこのお金が振り向けられてないじゃないかというお話もございました。理想を言えば、外から来てくださるお客様で施設の中に入っていただくお客様に、少しお金を落としていただけるように考えていくということ、施設を利用するのに値上げをするのではなくて、もっと利用していただけるための交通手段も含めた施策が必要なのかと。お金を落としていただいたら、自立するのは無理でしょうが、市からお金を減らす、逆に言えば、施設を改修するお金に向けられるということがあるといいなあと感じました。</p> <p>さらに公民館の次のテーマ、矢崎虎夫先生の彫刻について、縄文の話で、上之段遺跡とか駒形遺跡の整備と聞いてワクワクしています。それと中ツ原の話も出ていたのですが、昨日、花蒔の森の家さんのご主人が、観光案内所の会議で、中ツ原遺跡のパンフレットをお持ちになりました。中ツ原遺跡周辺の方々でお作りになって、市から補助金をいただいて聞いたのですが、結構立派なパンフレット。裏を見たら、森の家さんの花蒔の商業が入っていて。いいことだなと思って、地域の住民の方と連携がとれているのかな、首を振られているので知らないとおっしゃっていますね。中ツ原遺跡のパンフレットが欲しいなと思っていたので、よかったなと思っています。</p> <p>生涯学習部長</p> <p>中ツ原遺跡の付近の方々が、周辺整備で草刈りをしてそこに補助金を出しています。コミュニケーションをもっと密にしていくと、何か森の家さんでそういうのを作っているよみたいな話が出て、後で活用しましょうかみたいな形に繋がっていけば、非常にいいことなのかなと思います。情報がこちらの方は伝わってなくて申し訳ないですが、コミュニケーションの中から、そういう情報を得るということが大事なことだと思いますので、</p>
--	--

<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。パンフ等を作っている方々と、お話をさせていただきたいと思います。</p> <p>生涯学習また、社会教育というものがコロナ禍の中でこんなに頑張っていることを計画して実施していただいている。それをやはり活用しないという手はないと思います。これだけのことを自分たちで、年間している事業に参加したら、本当に心豊かなになるし、茅野市のことを知るし、やはり自分の生きがいとして生きていくには参加する、参加していただくことが必要だと思いました。それぞれの施設や担当課でそれぞれに事業の内容を皆さんに募集し、ご報告をして、例えば展示が何月何日ですとか皆さんにお知らせしますが、社会教育として生涯学習部でこれだけのことをしているということをパンフレットとして出し、それを見て、博物館や守矢神長官へ行ってみよう、スポーツ公園を使ってみよう、いろんな施設を使っている方もいらっしゃいます。自分だけの興味や趣味だけでなく、いろんなことを知るということが、また心豊かに暮らせるのかなと思いますので、何か社会教育という言葉が割と皆さんの中に浸透はしていないと思いますが、生涯学習で浸透しているのですが、茅野市でやっていますよと、こんなに楽しいことがありますよということをパンフレットとかでピーアールをしていただければ、茅野市民も参加して、自分たちの心豊かになりますし、生活が豊かになりますので、考えていただければ嬉しいかなと思います。今年度の課題や提案事項が今年1年で、事業が解決されますように、事業を推進していくようお願いしたいと思います。皆さんいろいろご意見ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>考え方次第ですよというのが、今の広報ですが、何もなかった時代は、新しいものが生まれるとメジャーになるので、簡単にメジャーになったと思います。でも、すごくたくさんある時代になっているし、行政以外の部分のいろいろなものも社会に隠れている中で、都合よく人が集まるだろうかという一種のあきらめもあっていいのかなと思います。と同時に工夫も必要ですが、もっと宣伝は正しいのですが、宣伝に知恵を使うよりは、いいコンテンツにする方にエネルギーを注いだ方が良いかなど。そういうあきらめも必要と同時にもう一つ、情報を取りに行く市民の方をどう教育するかだと思います。大人はもうちょっとシステムピックに教育することは無理なので、諦めつつ努力をしますけど、小学生とか中学生に市民教育とか、市民力みたいところで、君たち大人になった時代にも、どの地区にもこういう構造があるからこういうところで、豊かに少し情報を取るようなことも身につけよう、社会教養として実につけようみたいのところを入れておくのがとても大切なことで長期的ですが、教育に入れないと駄目なんじゃないかなという面もあって、その辺は学校教育どうですかというのが、コメントいただければ、市民としての教育、そんなことが何か少し問題意識付いたら安心が広がる、努力が必要ですが、限界もある時代に入ったのかと自分自身もいろいろ思っています。</p>
<p>教育長</p>	<p>ご指摘していただいたことの答えになるかわかりませんが、平成に入って</p>

	<p>から、いわゆる茅野市だけの教科の縄文市民科に名前を変えました。その中で、一つは縄文を学んでいく、ただし考古学を学ぶのではなくて、縄文の精神を学んでいく。同時にその精神を自分たちのまちづくりに向けていこう、縄文で学んだことを、その過程で、様々なことを今から学んでいかないと、という方向で、今、進んでいます。そのモデル的なやり方で今度、宮川小で、子どもたちがいくつかに分かれて、一応 30 もの地域の様々な学びを発表します。講師としてお迎えして体験して、普及して、模索してやっています。まだ他でもしていないことなので、いっぱいアイデアをいただきたいと思います。コロナが終わったときの私たちの新しい学びの姿が生まれていたらと思います。矢崎さんが言われた、図書館協議会の方と、もう一度考えていく必要があるのかなと思っています。いろいろ考えていますのでぜひ教えてください。</p>
生涯学習係長	<p>6 その他 令和4年度の諏訪地区社会委員連絡協議会の役員として、今年度と来年度、監事が回ってきます。その監事に副委員長に今年度、お受けいただきましたので、よろしくお願いいたします。 それから、次回の委員会の会議の開催につきまして、施設の方であることを、ご意見いただきましたので、開催について調整をさせていただきます。</p>
委員長	<p>ご意見ご質問等ありますでしょうか。(なし)</p>
副委員長	<p>7 閉会 それでは以上をもちまして、令和4年度第1回茅野市社会教育委員の会議を閉会といたします。お疲れ様でした。</p>
<p style="text-align: right;">～午前11時45分 会議終了～</p>	